

令和7年度 学校評価

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ わからない

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察
<p>1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に向けていますか。(感動・感謝、郷土愛、いのちを大切にすること、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など)</p>	<p>2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進</p> <p>学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。</p>	<p>豊かな心と健やかな体を育む教育の推進については、三者ともに肯定的意見が9割を超えており、昨年度と比較して高い結果であった。</p> <p>また自ら学びに向かう教育の推進については、三者ともに8割以上が肯定的意見だったが、そう思わないと回答した割合が教職員はいなかったのに対し、児童では8%見られた。</p> <p>今後は、児童が自ら学びとる実感を得られるような授業づくりに取り組んでいきたい。</p>
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		
<p>3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進</p> <p>学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりするこどもの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイストライ(中学校)など)</p>		<p>昨年度と比較し、肯定的意見に伸びが見られたが、保護者、教職員の肯定的意見が9割程度であったのに対し、児童は7割程度と差が見られた。企画委員会を中心に、とみあいフェスティバルの計画や校則の見直しを進めてきた。地域学習についても、総合的な学習の時間を通して地域のよさについて考える学習を行っている。</p> <p>今後は、地域の方との活動を積極的に取り入れながら、社会に開かれた教育活動の実現に努めていきたい。</p>
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
4.5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実		
<p>学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。</p>	<p>学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていますか。</p>	<p>個別最適な学びの実現については、児童の肯定的意見が8割を超えており、昨年度と比較して高い結果だった。協働的な学びについては、児童、教職員ともに9割程度肯定的意見が見られた。</p> <p>一方、保護者では二つの質問ともに「わからない」と回答した割合が2割程度見られることから学びの可視化や家庭学習における個別最適な学びの充実が求められる。</p> <p>今後は、公開授業の実施や探究的活動に保護者も協力してもらうことで、家庭と連携し学びの充実を図っていきたい。</p>
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
<p>6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実</p> <p>学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。</p>	<p>7 インクルーシブ教育の推進</p> <p>学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。</p>	<p>昨年度と同様に、どちらの項目も肯定的意見が8割程度と高い評価だった。一方で多様な教育的ニーズに対応した支援の充実について保護者の14%がわからないと回答している。</p> <p>今後は、教育相談体制の充実を図るとともに、通常の学級での個に応じた支援の在り方をより一層発信していく必要がある。</p>
(3) 最適な教育環境の整備		
<p>8 安全・安心な園づくりの推進</p> <p>学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育(生活・交通・防災など)に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>9 地域や家庭と連携した教育環境の整備</p> <p>学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。</p>	<p>安全・安心な園づくりの推進では、昨年度と同様に三者ともに肯定的意見が9割程度であった。新校舎となり、安全点検や日頃からの環境整備に職員全体で取り組んだ結果と考えられる。</p> <p>また地域や家庭と連携した教育環境の整備についても、肯定的意見が9割程度だった。</p> <p>今後は職員全体で安全教育を推進し、地域や保護者と連携した教育活動を展開していきたい。</p>
(4) こどものいのちと権利の擁護		
<p>10 こどもの最善の利益を守る環境づくり</p> <p>学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。</p>		<p>昨年度と比較して、三者ともに肯定的意見の割合が向上した。一方で、教職員に比べて保護者の肯定的意見が75%と低いことから、更なる相談支援体制の充実が求められる。</p> <p>今後は、個別的教育相談を子どもたち、保護者ともに期間を設定して実施するなどの対応を図ってきたい。</p>
独自項目		
<p>独自項目1</p> <p>子どもは進んで明るいあいさつができていますか。</p>	<p>独自項目2</p> <p>子どもは、物を大切にすることができていますか。</p>	<p>挨拶については、肯定的意見が児童では9割程度であるのに対し、教職員では7割程度であった。</p> <p>また物を大切にしているかという質問では、児童の9割程度が肯定的意見であったのに対し、保護者は7割程度、教職員は4割弱と大きな差があった。今後は、気持ちのよい挨拶はどんな挨拶か、場面や状況に応じた挨拶を一人一人が考えたり、落とし物コーナーにあるものを少しでも減らしたりすることができるよう指導していきたい。</p>
来年度の具体的な取組について		
<p>○子どもの振り返りを次の学びにいかせるよう授業改善に取り組むことで、主体的に学習に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>○教育活動に必要な人的・物的資源を、地域等の外部の資源も含め活用することで「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。</p> <p>○個別最適化した学びの充実を行うため、家庭学習のありかたを工夫する。</p> <p>○子どもや保護者の教育相談期間を設定し、支援体制の充実を図る。</p> <p>○「あいさつ」「物を大切にすること」というめあてについて、児童会活動や学級活動、帰りの会などを通して、自らの行動を振り返り実践しようとする態度を育てる。</p>		
小中学校関係者評価		
<p>○子どもたちも落ち着いて学習に取り組んでおり、朝の会など自分たちで進めている様子が見られるなど主体的に活動することができている。</p> <p>○子どもたちが困った時に先生や友達から支えてもらえる温かい雰囲気を感じられ、多様な教育的ニーズに応じた支援ができています。</p> <p>○トイレのスリッパならべなど、周りのことを考え、相手のことを思いやる豊かな心を育む教育の充実が図れている。</p> <p>○挨拶については、学校、家庭、地域が協力しながら、子どもたちの意識が高まるよう取り組みを継続していく。</p> <p>○かさをきちんと傘立てにしまうなど整理整頓を心がけている児童も見られることから、物を大切にすることについても家庭と連携しながら取り組みを進めてほしい。</p>		